

## 【(仮称) 松田町デジタル田園都市構想総合戦略 (素案)】に関する パブリックコメントの募集結果について

### 1 パブリックコメント実施概要

政策等の題名	(仮称) 松田町デジタル田園都市構想総合戦略 (素案)
政策等の案の公表の日	令和7年1月14日 (火)
意見提出期間	令和7年1月14日 (火) ~ 令和7年2月13日 (木)
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見募集の周知 広報紙、町公式サイト、各自治会長宛送付</li> <li>・ 素案の閲覧場所 町公式サイト、町役場政策推進課、寄出張所、生涯学習センター、町健康福祉センター、寄自然休養村管理センター</li> <li>・ 意見提出方法 直接持参、郵送、ファックス、電子メール、アンケートフォーム</li> </ul>

### 2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数 (意見提出者数)	1件 (1人)
アンケートフォーム	1人
(無効な意見提出)	0人

### 3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する町の考え方は、次のとおりです。

#### 【総括表】

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、計画等に反映したもの	0件
B	意見の趣旨が既に計画等に反映されているもの	1件
C	今後の検討のために参考とするもの	0件
D	その他 (質問など)	0件

	意見の内容（要旨）	区分	意見数	町の考え方
1	<p>村井純氏の著作“インターネット文明”によると、「日本ほど上り回線が強い国はほとんどない」とある。このことこそが、松田町まち・人・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略における最大の強みとなりうる。</p> <p>石油文明の到来とともに、資源（人的、物質的また金融資産）が都市に急速に集まり、地方から急速に資源（人的、物質的また金融資産）が減少して今に至る。選択可能な仕事が地方に少ないために都市部への通勤が容易な場所に居住地を移すケースが多い。</p> <p>しかしながら、都市部よりも自然環境の豊かな田舎に住みたいという需要は少しはある。そこで、官民共に「日本ほど上り回線が強い国はほとんどない」という強みにより、田舎に居住しながら仕事に活かせることを、共通の認識とすることが大切である。また自然の豊かさを人口の多い都市部に発信することで、田舎への移住の需要を喚起できる。</p> <p>当然のことながら、移住先の必須要件は、住宅と仕事である。現在のやどりきにおいては、どちらもほとんど選択できる状況にない。よってそれらの準備を官民協働で後押しする必要があるが、自然環境の豊かさという強み、またそれに伴う条例等(再生可能エネルギー条例、SDGs 未来都市)を手立てとすることができる。あと一歩それらを網羅する環境未来都市のようなコンセプトを松田町が近隣自治体に先立って作る必要があるのではないだろうか。西粟倉村のようである。強みを活かしたコンセプトがあれば、移住者は徐々に増えて、民間の投資も少しずつ増えると予測される。</p>	B	1	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本町では、当初（平成 28 年度）に策定した人口ビジョン・総合戦略より松田地区及び寄地区のそれぞれの地区の特性を踏まえながら、これまでも各地区に応じた各種施策や事業の取組を進めてまいりました。</p> <p>（仮称）松田町デジタル田園都市構想総合戦略（素案）においては、基本目標 2 として人の流れを作るための各種取組、基本目標 3 として地域にしごとをつくるための各種取組について、ご意見にもあります「デジタル」を活用しながら推進していくこととしております。</p> <p>総合戦略（素案）には、寄地区の有する豊かな自然環境などを活かした新たな取組として、農林業の更なる振興に向けた施策（農林業アカデミーの開講や木質バイオマスへの間伐材の活用など）を盛り込んでおり、地域資源を活かした地域産業の発展に向けた取組をより一層推進し、地域のしごとの創出を図ってまいります。</p> <p>寄地区の移住者の増加に向けた取組として、これまで実施してきたロウバイ祭りや寄七つ星ドッグランといった事業に加えて、令和 7 年度からスポーツツーリズムの促進による交流人口、関係人口の創出を図っていきます。また、寄地区に特化した移住施策として「寄地区移住奨励金制度」を令和 6 年度より新設し、これらの施策を通じて、人の流れを創出していくことを目指しています。これらの取組によって、新たな人の流れとしごとをつくり、寄地区の移住促進を図ってまいります。</p>